

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	開会・挨拶
会長	挨拶
事務局	出席者の確認、出席者 12 名で全委員 15 名の過半数に達し、審議会規定により会議の成立を確認。
事務局	傍聴者 2 名が入室。
事務局	議題(1)「所沢市マチごとエコタウン推進計画(第 3 期所沢市環境基本計画)改定版」及び答申書の修正点について、資料 1 に基づき説明。
会長	これについて特にご質問等がなければ、この後の流れについて事務局から説明をお願いしたい。
事務局	この後の流れについて説明。
会長	(市長参加まで地球温暖化について説明)
	(市長入室)
事務局	<会長から答申書を市長に手渡し>
市長	<市長挨拶>
会長	<会長挨拶>
	<p>今日答申をお渡ししたが、所沢市は非常に環境に対して熱心な自治体であり、そこでこのような仕事をさせていただき感謝している。</p> <p>気候市民会議というものが欧州の方で盛んであり、今世界各地にも広がっている。気候市民会議はこの審議会が答申を作る作業の間に並行して行われていた。市長が先程言われた、市民が自分事として気候変動や地球温暖化を考えていこうというのはまさにその通りと考える。世界的には地球温暖化というのは、もう防ぐことがで</p>

	<p>きないのではという声がある。今までは政府が技術を開発し、それらを政策的に展開すれば、ある程度防げると考えられていた。しかし、現在では市民のライフスタイル自体を変えないと、難しい状況になっている。さらに2030年以降、急速に削減を進めなければならないときに、私自身解決策が分からない状態であった。しかし、この場に参加し、市民を巻き込み市民の方に考えてもらうことで、地球温暖化を解決できそうだとことが分かってきた。他の場で政策を立案、あるいは提案をするときに、今回の参加が非常に参考になった。本答申は少し高いところを目指しているが、いろいろな形で市は市民をサポートし、市民が排出量削減に向けて進めることができるようにして欲しい。</p>
事務局	<p>市長は公務のため、ここで退席させていただく。 (市長退席)</p>
会長	<p>各委員の方々、本日が最後のため、この場に参加しての感想等を一言お願いしたい。</p>
委員	<p>従来の審議会は形式的なものが多いと感じていたが、所沢市の環境審議会は、市民会議やパブリックコメントなど、多方面から様々な意見を聞きながら、練り上げることができたのではないかと思っている。諸外国では計画策定過程が計画成果物よりも重要だと言われている。つまり、難解な環境問題は議論を重ねる程、難しい壁にぶち当たるわけで、今回の計画はそのような壁を何とかしていこうという中で作り上げられたということは本当に良かったのではと考える。今後とも所沢市の環境の先進的な取り組みに期待を申し上げ、この計画の推進を見守りたい。</p>
委員	<p>所沢市の気候変動、資源循環等、全て他の自治体のリーダーシップを発揮し取り組んでいると考えている。今後計画を推進していく中で、計画通りにはいかないかもしれないが、定期的な見直しを行いながら、所沢市が今後もリーダーシップを取っていけるように、私達もご支援ご協力したい。</p> <p>また気候市民会議が県内で初めて開催され、非常に参考になった。私の地元でも市民会議を立ち上げたいと考えている。</p>
委員	<p>ゼロカーボンシティを進めるに当たり、科学技術の進歩だけでな</p>

	<p>く、市民1人1人の考え方や行動実践が重要だと考える。</p> <p>私は校長会の代表で参加しているため、この会議のことや、2050年までにゼロカーボンシティを達成するという話について、今後も伝えていきたい。</p> <p>昨今、教科書は以前と比べ大分内容が変わったが、環境教育に関する内容のボリュームが増してきたと感じている。子どもたちの間でも実際二酸化炭素を出さないというような生活の意識が高まってきたと感じている。2050年というと今から26年後であり、今の子どもたちが将来所沢市をつくっている時期となる。時間をかけてゼロカーボンシティの取り組みについて、子どもたちに伝えていきたい。</p>
委員	<p>最初にこの会議に出席した頃は、たとえ商工会議所でゼロカーボンの話をしても、企業は何か得がなければ動かないのではと考えていた。しかし近年、特に製造業を中心として、取引先からSDGsに対する現在の取り組みについての質問が多くなされ、実際にそれらに取組まなければ、取引に影響が出てしまう傾向があるという。製造している企業、いわゆる地球温暖化問題の要因になっている企業も、だいぶ意識が変わってきていると感じている。</p> <p>わずかこの2年間で、最初の頃は全く反応しなかった人達が、反応せざるを得なくなってきたというのは、非常にいい傾向ではないかと思う。これからさらに2年、3年と経過していくうちに、このような考えが当たり前のような時代がやってくると思うと、今現在目指している2050年ゼロカーボンということは、実現することが決して夢ではないと感じている。</p> <p>今後は市民の方の意識改革というものも必要であるし、それは市役所を挙げて全体で考えていくことであると考えている。</p>
委員	<p>私はエネルギー会社から来ているため、エネルギーの消費については、環境政策あるいはカーボンニュートラルということに対して非常に敏感に感じる。また我々はそれらに対し、我々自身ができる事に取り組んできた。一方でゼロカーボンシティということになると、やはり市民の環境政策の参画や行動変容も非常に大事であることが理解できた。以前はこれらのイメージがなく、今回の審議会に参加したことで、地域に根付いて取組まれて、さらにそれらが今回の基本計画の中にしっかり盛り込まれた上で、きめ細やかな計画となっていることに非常に感心し勉強になった。</p>

<p>委員</p>	<p>ゼロカーボンという言葉が分からない状態から始まり、内容についていくのも大変であった。環境について考える機会が普段の生活ではあまりないため、今回のような機会があったことで、環境について考え、また自分の子ども、その先の子どもたちの将来を考えた。</p> <p>自分達が今何を行動するべきか考える機会になり、自分たちの行動が全て繋がっていくということが理解できた。自分に何ができるのかを考えながら皆さまの議論についていく状態だった。</p> <p>今後も環境についてアンテナを高くして生活していきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>とてもすてきな答申案はできたが、果たしてこれが皆の責任ででき上がるのか考えると怖い。まちなかを歩いてみると、ぱっきりと緑が切られている。今の所沢の魅力である緑も残せなくては、子どもたちと何を繋いでいけばいいのか分からない。授業に行くと子どもたちに海洋汚染のことを言われる。所沢の場合、海洋汚染も大切だが、自分達ができることをもう1回考えるところから振り返って授業を立て直している。ビオトープがある学校はそれなりの授業ができるが、それもない場合、先生達もお手上げになるのが現状である。</p> <p>こういうことを私達だけでやっていくわけにはいかないので、2年間一緒に苦労してきた方々に支援していただかないと、本当に絵にかいた餅になってしまうと思う。引き続き協力をお願いしたい。</p>
<p>委員</p>	<p>私は県に帰ればこのような計画を取りまとめる立場として、今回のこの計画が非常に手間と情熱をかけた、また非常に意欲的な計画にまとめられたと思っている。</p> <p>また実行が大事だという部分でこれから気を引き締めて執行に当たられると思う。埼玉県全体を見ると環境基本計画がない地域はないが、地球温暖化の実行計画に関しては市町村でもまだ努力義務とされている。所沢のようにしっかりとした計画を全く持っていないという地域もある。県としてはそのようなところをリードしていきたいと考えている。今回の所沢市の取り組みも横展開したい。</p>
<p>委員</p>	<p>私は環境省関東地方環境事務所に所属している立場上、関東一都九県内の幾つかの市町村における環境審議会や策定委員会に参加しつつ計画策定の支援をしてきた。これらの経験のなかでも、特に気候市民会議等により市民の意見がしっかり取り入れたところは、</p>

	<p>本当に特徴があると思っている。今後、市民と一緒に実行していくことが重要と考える。</p> <p>また IPCC は第 7 次報告書 (AR7) の取りまとめの準備を開始していると聞いている。次期議長や研究者のコメントをウェブ会議で聞く機会があったが、AR7 のポイントは、都市と気候変動、適応の限界といったところに少しフォーカスしながら取り組んでいくとのことであった。所沢市でも、最新の情報をフォローしながら、今回の計画を実施して欲しい。</p>
委員	<p>いろいろな地域においても、先進的な所沢市の取組は非常に進んでいると仕事の中でも感じており、携わることができてありがたかった。自分自身の環境に対する意識というものが、2 年間で変わったと感じている。2 年前から委員の立場として、分からないながらも CO₂削減などを色々なお客様のところで啓蒙してきた。そこでは「本当に儲かるのか?」「売り上げは伸びるのか?」と言われていたが、現在は取引上で求められるということがこの 2 年間実感している。お客様も取組まなくなってきたということをひしひしと感じている。</p> <p>この答申自体、非常に市民目線で分かりやすく書かれている。今後はいかに広めるか、皆様に認識・実行してもらうかを考えなければならぬ。私自身も考えながら取り組んでいきたい。</p>
委員	<p>私は、各地域 11 行政区の代表を集めて事業者などの講演を開催し、事業者がどういう取組をしているか環境委員に聞いてもらった。2 月 17 日にはボランティア活動を行う。山は二酸化炭素が吸収される場所であり、宇宙の中で地球だけは土があるということを、子どもたちに認識してもらいたい。16 ページを見てもらうと分かるように、所沢市の丘陵はここ (将軍塚あたり) しかない。市街地はコンクリートだらけになっている。森林環境税なども取られるので、私たちのためにこういうお金を使ってもらいたい。</p> <p>会議では、全体的なものを学ばせてもらった。ただ学ぶだけではなく、実行しなければならない。温暖化を肌で感じている。ここで様々な立場の皆さんの話を聞いて、やはり市民が実際しっかり理解して、自分たちの孫やひ孫に伝えていかなければいけないと感じた。この会議を一つの勉強の場として、2 月 17 日は実践の場として設けた。これを足掛かりとして若い世代にも実践してもらいたい。2050 年に向かって、それぞれの立場でやっていかなければならない</p>

<p>会長</p>	<p>と再認識した会議だった。計画のなかでは、事業者・市民・行政がやらなければならないということを、きちんと分けて載せていただいたことは大変有難かった。</p> <p>私はこの会議を取りまとめる立場として参加させていただいた。普通、市民それから業者の方、産業分野の方、そして行政というときに、お互い利害関係が出てきてしまうが、地球温暖化・気候変動というものは、結局利害は、最終的に市民へ行ってしまふ。利害関係を一番嫌がる市民が、実は一番弱い立場にいる。逆に言うと、結局、事業者の方達は市民が支援しなければ、事業をまわすことはできない。市民は今何が大事か、子孫の世代のために何を判断するかを考えて行動できればSDGsに熱心な企業は生き残ることができる。しかし、安いというだけで購入先を決めてしまうようでは、なかなかうまく進めることができない。</p> <p>気候変動のIPCCでは、第6次報告書では、エンドユーザーという書き方をしているが、実はエンドユーザーが一番影響力を持っている。つまりエンドユーザーに気候変動に対する理解がないとうまくいかず、行政や業者の方も市民の意見を聞き関係を築くことで、自分たちの作る製品がなぜ高いのかという説明ができれば、市民の考え方は違ってくると思う。</p> <p>今回この審議会を担当して、今までいろいろな委員会に関わると、行政の方は審議会の名前を借りて施策を作りたいという人が結構あるが、所沢市はそうではなくて、市民が何を欲しているかということを念頭に置きながら行政を進めている。委員が好感をもったのは行政がそれだけ市民のことを考えながら何をすべきか考えているからだと思う。市にはこれからも基本路線を守り、所沢市の脱炭素の取り組みについて、市民を主役としてやって欲しい。</p> <p>その他、事務局から何かありますか？</p>
<p>事務局（代読）</p>	<p>欠席の坂根委員からコメントをいただいているため、事務局から代読する。</p> <p>「環境審議会は皆様からの貴重なご意見を伺う機会であり、大変勉強になった。会議でなるべく一つは意見を言う努力をしてきた。立派な計画ができ、あとは実行あるのみだと思う。市民レベルでも、ライフスタイルを見直し行動変容ができるといいと思う。将来夏は40℃が当たり前の気候に何とか適応しながら生きていくのかもしれないが、少しでも住みやすい世界になるよう、これからも関心を</p>

	<p>持ち続け、行動していきたい。」</p>
会長	<p>本日は所沢青年会議所の大庭委員が欠席されているが、オブザーバーとして所沢青年会議所の深井理事長がいらしているので、コメントを深井理事長にお願いしたい。</p>
委員代理	<p>所沢青年会議所は、地域の人々のために運動・ムーブメントを展開していく団体であり、私達自身が動いていくだけではなく、人々の意識や行動に良い変化を与えていくために取り組む団体である。また市民憲章の最後にも1人1人自らがまちづくりを進めようという言葉があるが、環境も同様であると感じる。本当に1人1人が自ら環境について取り組み、当事者意識を持っていくことが大事であると考えている。所沢市は環境に強いまちと元々言われているが、さらに環境へ当事者意識の高いまちのモデルケースとして取り上げられていくことによって、他の地域も動かしていくことができれば、地域の魅力にもなり社会貢献にもなると考える。所沢青年会議所としても、しっかりと計画を遂行できるように協力していきたい。</p>
会長	<p>本日の議事はこれで終了となるので、以降の進行は事務局にお願いする。</p>
事務局	<p>最後に、環境クリーン部長より、一言ご挨拶申し上げる。</p>
環境クリーン部長	<p><部長挨拶></p>
事務局	<p>完成した冊子については、3月末をめどに委員の皆様にご送らせていただく。</p> <p>また、本日は机上資料として「所沢市の環境 2023 年度版」を配布した。基本計画や実行計画に基づいて実施した施策等の状況に関する年次報告書であり、ご一読いただきたい。</p> <p style="text-align: center;">【閉 会】</p>